

れいわ新選組機関誌

れいわPRESS 第10号

2025年8月31日発行

大石あきこ、伊勢崎賢治、
集中審議での国会質問

「広島・原爆の日」、
「長崎・原爆の日」、
「80回目の敗戦の日」声明文

れいわ新選組所属議員、
魂の国会質問 (第6弾)

阪口直人、やはた愛、
山川ひとし、大島九州男

議員めし Vol.7 上村英明



<https://reiwa-shinsengumi.com/>



参院選後、 初の臨時国会集中審議 れいわ議員の国会質問

今回の参議院選挙の結果を受けて、消費税減税、
ガソリン暫定税率廃止、やりますか。

やはり石破総理には、さっさと辞めていただきたい。

消費税を集めたらこの国の社会保障がうまくいくかのように
ウソを言わないでいただきたい。

- 1、消費税は社会保障にろくに使われておりません。
- 2、そもそも消費税は社会保障の安定財源にははいけません。
- 3、社会保障にそもそも国費投入が足りない。

このままいったら国は減びますよ、本当に。

「アメリカに80兆円、投資といって差し出せるのであれば、
国民に投資してください。

アメリカとの交渉については全て国会の承認を必要とする、
そのような原則を入れてください。」

おおいし・あきこ

1977年大阪市生まれ。れいわ新選組共同代表、政策審議
会長。橋下元知事に直接異を
唱えた、元大阪府庁職員。



互惠性（米軍の自由がなくなる法的平等性）を欠く日米地位協定の問題と
その改訂に向けた問題意識を石破総理と再確認した。
パレスチナの国家承認を最速でおこなう手段として閣議決定でのそれを訴えました。

在日米軍基地が他国への攻撃に使われそうなとき、
日本がそれを拒否する権利をまず地位協定の中で担保すること、
これが自由なき駐留のこと。

カタールがやったように、アメリカが始める戦争に
在日米軍基地は使わせないということ
平時から世界に向けて我々が発信すること、
これらは日本の国防にとって必要な措置だと考えます。

いせざき・けんじ

1957年生まれ。東京外国語大学教授。元国連職員。2000年から国連職員としてインドネシアからの独立運動が起きていた東ティモールに赴き、国連PKO暫定行政府の県知事を務めた。2001年からシエラレオネで国連派遣団の武装解除部長を担い、内戦終結にも貢献。2003年から日本政府特別代表として、アフガニスタンの武装解除を担当した。



広島・原爆の日を迎えて、 8月6日にれいわ新選組より声明が発表されました

あの日から80年目の夏を迎えた。

原爆の犠牲となったすべての人々に、哀悼の誠をささげる。

また、今なお後遺症に苦しむ被爆者やご遺族の方に、心からお見舞いを申し上げます。

全国の被爆者の7割近くが「再び核兵器が使用される可能性が高まっている」としている。れいわ新選組は、この懸念に真正面から向きあい「核兵器のない世界」の実現にむけて先頭に立つことを、あらためて誓う。

今年の広島市平和記念式典には過去最多の124カ国・地域の駐日大使が参列する。ところが、世界ではかつてなく核戦争のリスクが高まり、原爆投下という惨禍が、今、国内外においてとてつもなく軽い言葉で扱われている現実を直視しなければならない。

トランプ大統領は、米軍によるイランの核関連施設爆撃について、広島や長崎を例に挙げ、「戦争を終わらせた点で本質的に同じことだ」と主張した。原爆投下を正当化する発言であり、決して許されない。日本政府は、米国に毅然と抗議し謝罪を求めるべきである。

(中略)

「核の傘」から「非核の傘」へ。

東アジアにも地域の信頼醸成の法的枠組みをつくり、平和と安全を確かなものとし、皆さんとともにあきらめずに、核兵器も戦争もない世界を実現していくため、引き続き、力を尽くしていく。

「核戦争に勝者はありえず、核戦争は決して戦ってはならない」。

2025年8月6日
れいわ新選組

全文は
こちら



長崎・原爆の日を迎えて、 8月9日にれいわ新選組より声明が発表されました

長崎に原爆が投下されてから、80年目の夏となる。
犠牲となったすべての人々に、心から哀悼の誠をささげる。

「長崎を最後の被爆地に」

その願いとは裏腹に、世界ではじつさいに配備及び貯蔵されている核弾頭の数が増え続けている。また、今年の「終末時計」は過去最短の「89秒」と発表された。核保有国のみならず各国指導者は、手遅れになる前に、「核兵器のない世界」に向けたリーダーシップを発揮する必要がある。

日本が、唯一の戦争被爆国として、その先頭に立つべきであることは言うまでもない。

(中略)

「被爆体験者」の高齢化も進んでおり、国による被爆者の分断を、戦後80年以上続けることは許されない。

今、核抑止に頼ろうとする動きが国内外で強まっている。その言い分は、核兵器の廃絶を「理想」とし、核抑止を「現実」としている。しかし、そのように主張する者たちは、本当に過去から学んでいるのだろうか。広島と長崎で示された地獄の惨禍を見れば、核兵器を前提とした世界こそがフィクションでしかない。核抑止論者こそ、核兵器が再び使われれば今度は地球も滅ぶ、という現実から目を背けているのだ。

原爆投下から80年、被爆者たちは命懸けで被爆の実相と核の非人道性を伝えてきた。唯一の戦争被爆国である日本にとって、それは「記憶」であるとともに、人類と共存できない核兵器を永久になくすための「力」である。武器ではなくその力こそが、世界が破滅する恐怖から解放することができる。これこそ、紛れもない現実である。

日本は、核兵器の廃絶の先頭に立てる。いや、立たなければならない。れいわ新選組は、そのために全力を尽くすことを約束する。

2025年8月9日
れいわ新選組

全文は
こちら



80回目の敗戦の日を迎えて、 8月15日にれいわ新選組より声明が発表されました

敗戦の日を迎えました。すべての戦争被害者のみなさまに哀悼の意を表すとともに、ご遺族のみなさまにお見舞い申し上げます。

第二次世界大戦の戦没者は、軍人・軍属と民間人で合計310万人と言われ、アジア太平洋地域全体での犠牲者は1千万人から2千万人ともいわれる。

いま改めて歴史の教訓を思い起こしたい。それは、当時の政治指導者の誤りによって、外に敵を求める熱狂が生み出され、植民地支配と侵略が行われ、アジアの人々に甚大な被害を与え、国民が戦争に巻き込まれてきた、という事実である。

今日、そのような反省や教訓が安易に忘れ去られ、塗り替えられ、誤った安全保障政策が進められている。台湾有事を煽り、米国が日本に求める中国封じ込めを、もはや前向きに応じる動きすらある。

(中略)

若い世代を核戦争や戦争ビジネスに差し出そうとする者たちを、一刻も早く国会から政府から追い出すことが必要ではないか。それに代わり、安定した雇用をもたらし、食料自給率を高め、何よりあなたの生活と尊厳を守るために、ウソ偽りなく行動する政権の樹立が必要ではないか。外に敵を求めるのではなく、「善隣友好」すべての近隣諸国との信頼醸成の「要（かなめ）」になる、そのような予防外交路線を安全保障政策の柱に打ち立てることを私たちは提案する。

戦後できた日本国憲法は、「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにする」と決意が示された。国外にも国内にも膨大な犠牲をもたらした政府の行為による戦争の過ちを正視し、私たちは、今こそ軍拡路線にあらがい、新しい道を提案するときだ。

80年目の敗戦の日にあたり、れいわ新選組は、二度と戦争をしない国づくりのため、あなたの生活と尊厳を守り抜く政権樹立のため行動していくことを誓う。

2025年8月15日
れいわ新選組

全文は
こちら



れいわの議員が多すぎて
誰がどんな質問をしているのか
チェックするのが大変! というあなたに——。

4月2日から4月8日まで

魂の国会質問

れいわ新選組の
所属議員たちの
第6弾

2025年1月24日に開会した通常国会より、れいわ新選組に所属する議員たちの注目の国会質疑を要約してピックアップ!
第6弾の今回は4項目の質疑を、写真と共に紹介します。

衆議院議員 ^{さか ぐち なお と} 阪口直人

2025年4月2日 外務委員会

1

ザガイン地域で大地震が発生し隣国のタイも含め甚大な被害が出ました。
「目の前の救える命は救う。これが緊急人道支援」と最初に現地入りし救援活動を行う
「ファーストイン」の大切さを訴えました。

また、日本の人道支援が国軍の支配地域のみに限られている点を取り上げ、
「民衆派勢力の人たちが支配する国内避難民を含めた方々にもしっかり支援が届くよう、
人道支援を行って頂きたい。彼らが見捨てることがあってはならない。」と
日本政府としてすべての人々に支援を届けるよう懇請しました。



目の前の救える命は救う。
これが緊急人道支援
だと思います

さかぐち・なおと

1963年生まれ。2009年8月、衆議院議員に初当選。れいわ新選組副幹事長。ボランティア本部事務局長。

動画はこちら



衆議院議員 やはた^{あい}愛

2025年4月2日 厚生労働委員会

災害医療チームDMAT、その運用は厚生労働省から国立病院機構に委託されていますが、ここで働く人たちから悲鳴があがっています。交付金は全廃、補助金は返納を強いられ、そのしわ寄せとして全国で看護職員などの定員割れ。他方で膨らみ続ける防衛費。医療現場の人手不足と低賃金の問題に「本当の意味での命を守るための予算を政府は考える必要がある」と訴えました。



コロナで何を学んだのかなと理解に苦しみます。有事に備えるためにも、国立病院の人手不足と低賃金の解消に向けてもっと支援すべきです

やはた・あい

1987年兵庫県出身。グラビアアイドルやタレント活動の他リポーターやラジオDJも務める。2020年よりれいわ新選組としての活動を開始し2023年11月衆議院大阪府第13区総支部長に就任。



動画はこちら

衆議院議員 やま^{かわ} 山川ひとし

2025年4月8日 衆議院総務委員会

沖縄離島からの避難計画に対し、政府は台湾有事を想定した避難計画ではないと言い張りました。れいわ新選組の徹底した平和外交を伝えた上で、政府の避難計画には国民を真に保護しようとするような内容になっていない、国民に信頼がない計画は逆に損害しか生まれない、政府は徹底した平和外交でアメリカの言いなりになることなく、有事で先頭に立つことがないように国民の命を守っていただきたいと訴えました。

自衛隊員誰一人、血を流さない、命を落とさない。
政府は徹底した平和外交で、アメリカの言いなりになることなく、国民の命を守っていただきたい



やまかわ・ひとし

1974年、沖縄県豊見城市生まれ。れいわ新選組衆議院沖縄県第4区総支部長。沖縄県内に初となる国政政党「れいわ新選組」事務所を開所。



動画はこちら

参議院議員 大島九州男

2025年4月8日 内閣委員会

JR各社が通信制高校のサポート校に通う生徒の通学定期券を廃止する方針を打ち出したことに対し、国会で強く反対しました。

普通高校の生徒には通学定期があるのに、同じ高校生であるサポート校の生徒を対象外とするのは不平等です。特に地方では電車が代が高く、家計への負担が深刻になります。

私の働きかけもあってか、JR各社は2026年3月まで通学定期の発売延期を決定しました。

しかし根本的な解決には至っていません。

子どもたちが安心して学べる環境を守るため、今後も闘い続けます。

サポートに通う生徒も
通学定期券の対象となるよう、
国交省はJRを指導せよ！



動画はこちら

おおしま・くすお

1961年生まれ。福岡県出身。平成3年より連続3期、直方市市議会議員を務めた。



れいわ新選組議員の推しグルメを紹介！

議員めし

腹が、減った…

Vol.7 上村英明

冷やし中華とマンゴーラッシー



衆議院第一議員会館内にある「第一食堂」の冷やし中華とマンゴーラッシー！

夏の定番冷やし中華はごまだれ多めが◎。

冷やし中華で夏の暑さを吹き飛ばし、ネパール人従業員も太鼓判のマンゴーラッシーで南国気分をプラス！ 涼と甘さの最強コンビで午後も頑張れそうです。(本来、中華料理の基本は身体を冷やさないこと！冷やしすぎには要注意：ヒデポン！)



れいわ新選組
HPはこちら



れいわオーナーズ
ご案内はこちら

あなたが、れいわ新選組のオーナーになりませんか？



ご寄附の受付

れいわ新選組は、皆さまからの寄附をお願いしております。頂きましたご寄附は、れいわ新選組が取り組んでいる政治活動、事務所運営費等に活用させていただきます。

れいわPRESS 第10号



発行・れいわ新選組 れいわPress編集部
〒102-0083 東京都千代田区麹町2-5-20 押田ビル4階
TEL:03-6384-1974